

令和4年度

恵那北小学校だより

5月20日号

げんきたっ子



宝物を大事にする子

校長 市川 伸美

新学期も1か月余りが過ぎました。4月には校庭で白い大きな花を咲かせていたモクレンの木は、緑の葉を茂らせています。

恵那北小学校の朝は代表委員の「おはようございます。」で、さわやかに始まります。5月のあいさつ運動では、保護者の皆様にもご協力をいただきありがとうございました。

あいさつ運動の日、バス停へ来てあいさつをする児童がいま



PTAあいさつ運動

した。当番なのか聞くと、自分たちの考えでバスを待ち、あいさつ運動をしているとのことでした。また、登校すると毎朝バス停を掃除する児童がいます。自分はバス通学でなくても、仲間のために働いているのです。よりよくすることを考え、行動に移せる姿は、まさに学校の教育目標「進んでできる子」です。

本校で大事にしている3つのたからものは「あいさつ」「読書」「掃除」です。児童がそれぞれに意識して取り組んでいることがうれしいです。

読書についても、6月にはPTAの皆さんによる読み聞かせがあり、今から楽しみにしています。この機会に、ご家庭でも読書について話題にしてみると楽しいと思います。「どんな本を読んでいたの。」「今日借りて来た本を見せて。」「お父さんやお母さんの好きな本は……。」「など。私事ですが、わが子は小学生のとき、同じシリーズを何日も続けて借りてきました。違う本も読むといいなと思いながらも、お気に入りの本がよく分かり、一緒に楽しんで読んだものです。

読書をすることで、物語の世界に入り込み、わくわくしたり心を打たれたりするなど、想像力を豊かにします。調べたいことがあるときは、インターネットで検索すると簡単に出てくる時代ですが、本



1年生 図書館にて

で調べる楽しみもあります。本を探し、その中から必要なことを見つけていく中で、関心を寄せる面白いものに出会うこともあり、考える力や探求心をつけていくこともできるのです。

今年も、恵那市中央図書館から1年生に「子どもが好きな本リスト」が配付されました。なつかしい本や面白そうな本がたくさん紹介されています。一人ひとりが「わたしの好きな本」を毎年増やせたら素晴らしいと思います。